

大会申し合わせ事項

1. 試合時間については、大会1日目及び2日目、は5分-1分-5分-3分-5分-1分-5分とする。ただし、大会3日目の準決勝からは、6分-1分-6分-5分-6分-1分-6分とする。延長戦は、2分の休息後に3分間行う。さらに同点の場合は第2延長を行う。第2延長は2点を先取したチームを勝者とする。なお、各延長戦は攻撃するバスケット、個人ファウル、チームファウルとも第4クォーターの続きとして行う。予選・準決勝リーグ、決勝トーナメント全てにおいて、延長戦を行うこととする。
2. リーク戦は、①勝率、②直接対決、③対象チームのゴールアベレージが高いチームを上位とし、さらに同点の場合は抽選により順位を決定する。
3. 全ての試合において、マンツーマンディフェンスを推進すること。
4. 大会決勝トーナメントにおいて、準決勝・決勝はマンツーマンコミッショナーを配置する。
5. 前の試合が延びて、試合の開始予定時刻を過ぎた場合は前試合の終了直後から10分前として次の試合を行う。また、4チームブロックの2試合連続するチームがでた場合は、前の試合終了後から15分前として試合を行う。
6. 決勝トーナメントでは、左側のチームがオフィシャル席に向かって右のベンチとし、原則として淡色（白色）のユニフォームとする。チームの事情により該当色のユニフォームが用意できない場合は相手チームに申し出て相談の上、対戦チーム双方のユニフォームを決めてよい。その場合必ず両チームより審判に申し出ること。
7. メンバー表はオフィシャル席と対戦チームに、ゲーム開始10分前までに提出する。
(A4サイズ仕様スコアシートに貼れる形式が望ましい。)
8. ベンチに入れるのは、チーム代表者及びコーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、選手15名の19名以内とする。(チーム代表者及びコーチは、16歳以上とする。)
9. 試合開始予定時刻を15分過ぎても対戦相手が試合を始められない場合は20対0の不戦勝とする。
10. 1チームの人数が8人以上であれば試合成立とする。ただし、登録メンバーが9人や10人以上であるにもかかわらず、試合時にそれぞれ8人や9人以下になってしまった場合は、交流戦として試合は行い、勝ち上がりの対象としない。対戦結果は0対20と記録し不戦敗の処置をとることとする。
11. 試合球は人工皮革5号ボールとする。1・2日目は各チームの持ちよりとし、3日目は大会球を本部が用意する。
12. 1～2日目の審判及びテーブル・オフィシャル(T・O)は組み合わせ表に記された配当表の通りとする。決勝トーナメントの審判は本部配当とし、(TO)は組合せ表に記載された通りとする。(別途配当がある場合もある)
13. 大会参加者は、インテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)に則り「クリーンバスケット」「クリーン・ザ・チーム」を推進します。
14. 大会中の審判服について、1・2日目はセカンドユニホーム(上下正規服品)可能とする。決勝トーナメントは正装とする。
15. 各会場の開場は1試合目の1時間前とする。また、試合前のコート使用はトスアップの30分前とする。指導者及びチーム責任者は会場到着が、あまりにも早すぎないように考慮すること。
(上記以外は日本バスケットボール協会ミニバスケットボール規則に準ずる。)